

「世界てんかんの日2020」記念イベント 2会場で実施しました。

国際てんかん協会（IBE）と国際抗てんかん連盟（ILAE）が2月の第2月曜日に定めた「世界てんかんの日（IED）」（今年は、2月10日）を記念し、日本でも5年目となる記念のイベントを神田明神ホールで実施しました（参加者：150名）。

この事業は、当協会と日本てんかん学会の共催で企画・実施し、厚生労働省に加えててんかん治療研究振興財団、全国てんかんセンター協議会が後援する、国内の主なてんかん関連全国組織すべてが関与する事業です。また、今年も昨年に引き続き、(株)TOKYO TOWERの理解を得て、東京タワー内のイベントスペース（フットタウン2F特設コーナー）で、世界てんかんの日を周知するとともに、てんかんの正しい情報を見聞きしてもらおう啓発展示を行い、多くの東京タワー来場者が立ち寄ってくれました。

※「世界てんかんの日」は、一般社団法人日本記念日協会に公式記念日として登録されています。

① 医療講演会

◇日時：2月11日（火・祝） 午後2時～午後4時

◇会場：神田明神ホール（東京・千代田区）

◇イベントの内容（敬称略）

●開会あいさつ

「世界てんかんの日と世界のうごき」

川合 謙介（一般社団法人日本てんかん学会 副理事長）

●来賓あいさつ（行政報告）

「日本におけるてんかん施策」

風間 信之（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
精神・障害保健課 心の健康支援室室長）

●医療講演「てんかんの最新治療法と今後への期待」

池田 昭夫（一般社団法人日本てんかん学会 理事長）

●世界からこんにちは（同時中継）「私たちも取り 組むてんかん運動」

インドてんかん学会理事長 Dr. (professor)

Man Mohan Mehndiratta

左から池田理事長、今井監督、梅本会長



神田明神境内に建つ神田明神ホール



神田明神

●てんかんのある人と家族からのメッセージ「てんかんとともに生きる」

今井 友樹(兄妹)(株工房ギャレット代表取締役 ドキュメンタリー映画「夜明け前-呉秀三と無名の精神障害者の100年-」監督)

●閉会あいさつ・アピール「てんかん宣言」

梅本 里美(公益社団法人日本てんかん協会 会長)

当日は、医療講演で正しい知識を普及させるとともに、兄妹の立場からご登壇いただいた今井友樹監督のメッセージが感動を呼ぶ講演会となりました。また、加藤勝信厚生労働大臣からの祝辞に加え、松本純衆議院議員を始め多くの皆さまから祝電をいただき、今後さらなる発展が期待できるイ



当日プログラム集

ベントとなりました。最後になりましたが、運営にご協力いただきました企業ボランティアの皆さまにもこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

③東京タワー・記念啓発イベント

東京タワーフットタウン2F特設コーナーにて、9～11日の3日間、10時～17時まで啓発活動を行いました(おおよそ700の方がブースに立ち寄ってくれました)。多くのボランティアの皆さんにご協力いただき、てんかん運動マスコットキャラクターあかりちゃんや顔出しパネルでの記念撮影、てんかんに関するパネル展示、資料提供、記念品(缶バッジ・風船など)を配りました。ご協力、ご参加いただきました皆さまにこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。



啓発ブースで企業ボランティアの皆さんと



おくすり手帳を参加者に配布しました。

てんかんのある人に役立つオリジナル「おくすり手帳(カバー付)」を、2018年度の宝くじ社会貢献献報事業の助成を受けて作成したものです。ご活用ください。



マスコットキャラクター「あかりちゃん」と梅本会長